

アンケートに基づく自己評価に関して

環境・体制整備に関して

- ・普段はゆったりした環境でご利用して頂いているが、ご利用人数が定員に近い日は、手狭な環境となってしまう。
- ・段差の解消などバリアフリーの環境であるが、壁などにより見守りを完全に実施することは建物の構造上難しい。その為、利用前に詳細なアセスメントや多職種によるリスク等の検討を十分行う必要がある。
- ・放課後等デイサービスを開始し一年半経過したが、継続的に研修会等に参加し資質の向上を目指す必要がある。

業務改善に関して

- ・日々のミーティングや会議にて、情報の共有や課題解決に向けた取り組みを実施している。

適切な支援の提供に関して

- ・面接やアセスメントシートの情報に基づきニーズや課題を抽出し個別支援計画書を作成している。
- ・高齢者との交流が円滑に行われるよう座る位置等の調整を行っている。
- ・月に1回、モニタリング用紙にて支援内容の振り返りを行っている。

保護者への説明等に関して

- ・送迎時にご家族に直接利用時の様子等を伝えている。

災害時等の対応に関して

- ・感染症、災害対応マニュアルは策定済みであり、研修等で対応の確認を行っている。

満足度に関して

- ・保護者の方々に向けたアンケートより、「送迎車を見るとうれしそうな様子となる」等の記載があり、概ね満足されている様子であるが、今後とも満足度の向上に向けて、利用者・ご家族の要望を多くひろい上げる必要がある。